

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Job Kids尼崎		
○保護者評価実施期間	2025年1月7日		2025年1月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39人	(回答者数) 38人
○従業者評価実施期間	2025年1月7日		2025年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢に応じた教室分け(中学生～高校生)により、利用者個人の特性やスキル、保護者様の要望に応じて教室選びが可能なおこと。	5領域に応じた内容豊富なカリキュラムを年齢やスキル別に確立していること。また、日頃から教室間の交流や体験の機会を持ち、移籍がある場合にもスムーズに移れるよう配慮している。	本人支援に加え、移行支援や地域支援も強化し、より包括的な支援を実施する。
2	安全優先を徹底した事業所運営と、充実したスタッフ配置	日々細やかに打ち合わせを行い、各スタッフがマニュアル遵守できているかの確認も行っていること。また、送迎業務は2名体制で必ず実施していること。 職員も基準以上に配置し、専門職のスタッフも充実している。	・安全計画に沿った研修を強化する。 ・インターンシップとして心理学専攻の学生を受け入れ、カリキュラム作りに参加してもらい、より専門的なカリキュラムを実施する。
3	同法人で就労サービスの他、短期入所施設を運営していることにより、切れ目のない一貫した支援の提供が可能なおこと。	短期入所施設では、レスパイトサービスの役割から家族支援も同時に行っている。また、卒業後の進路をイメージできるようオープンキャンパスや体験会を開催している。	日頃から他サービスの利用者や交流する機会を設ける等、活動範囲を広げ主体的に参画できる活動を行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域社会との連携、交流を図る機会が少ない	事業所内で完結する活動(カリキュラム)が中心になっていること。また、特性の理解や安全面の観点から双方積極的に交流することが難しい。	地域での課外活動を実施することにより、地域で暮らす他の子供との交流の機会を持ち、地域社会への参加・包摂を促進する。
2	保護者会等の開催やきょうだい支援を行う機会が少ない	保護者様のニーズが多様である為、具体的な実施に至っていない。	現在ごきょうだい向けのイベントの開催を検討している。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		Job Kids尼崎				公表日		2025年2月21日	
						利用児童数		39	
								回収数 38	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	1	1	2		今後も発達支援室の他、プログラム内容（PC、運動プログラム、課外活動等）に適した環境で活動します	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	31	1	0	6		今後もサービス向上及び、安全面に配慮し、基準以上の人員を配置します	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	2	0	5		今後もお子様が安全に過ごしやすい環境を整えます	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	1	0	2		今後もお子様が安全に過ごしやすい環境を整えます	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32	4	1	1		今後もご家庭と連携を図り、集団療育×個別支援の中で一人ひとりにあった支援を行います	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	34	1	0	3		今後も提供する支援内容と相違のないよう、支援プログラムを作成・公表します	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37	1	0	0		今後もご家庭と連携を図り、共通理解を持って個別支援計画を作成します	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35	0	0	3		今後もご家庭と連携を図り、ニーズや課題等共通理解を深め、支援内容の向上に努めます	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	0	0	1		今後も適切な支援の提供に努めます	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	3	0	0		今後もプログラム内容が固定化しないよう努めます	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	13	14		今後外出イベントで児童館を利用し、地域のこどもとの交流の機会を設けていきます	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35	1	0	2		今後も保護者様に安心してご利用頂けるよう努めます	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	2	0	1		今後も保護者様に安心してご利用頂けるよう努めます	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	7	10	8		保護者様のご要望に応じて今後検討していきます	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	35	2	1	0		今後も日頃の様子等、随時情報共有を行い、共通理解を持って支援を行います	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	2	1	0		今後も随時情報共有を行い、課題解決に向けてご家庭と連携を図ります	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	4	0	1		今後も保護者様に安心してご利用頂けるよう努めます	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	7	5	14	12		現在ごきょうだい向けのイベントの開催を検討しています	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33	3	0	2		今後も窓口担当者（管理者）及び、解決責任者により、迅速な対応に努めます		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	2	0	1		今後も適切な支援の提供に努めます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	37	1	0	0	LINEは届いている。	今後も公式LINEで毎月発行の広報誌やイベント情報、災害発生時の対応等を配信します。また、HPにはブログ(毎日更新)や自己評価結果を掲載しています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	0	0	2	留意されていると願います。	今後も適切な支援の提供に努めます
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	3	0	3		今後も各種マニュアルは事業所内に設置し、保護者様には利用契約時等に周知・説明します。また、引き続き年間研修計画に基づき訓練を実施します
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	34	1	1	2		今後も毎月のプログラムの中で避難訓練を実施します。また、備蓄品を備えています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	35	1	0	2	まだ何があったわけではないが、考え計画して運営されていると思う。	今後も安全計画に基づき研修を実施し、適切な支援の提供に努めます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	3	0	1	まだ何があったわけではないが、考え計画して運営されていると思う。	今後も事故等が発生した場合に備え、緊急時対応マニュアルに基づき研修を実施し、迅速な対応に努めます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	36	1	1	0		今後もお子様に安心して過ごして頂ける事業所運営に努めます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	31	3	2	2		今後もお子様に安心して過ごして頂ける事業所運営に努めます
	29	事業所の支援に満足していますか。	32	6	0	0		今後もさらにご満足頂けるサービスを提供できるよう努めます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Job Kids尼崎			公表日	2025年2月21日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		発達支援室は利用定員に適したスペースになっている。また、別室に相談室・カームダウンスペースを設けており、個別対応が可能である。	今後も継続して適切な支援を行う
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		児童発達支援管理責任者兼 管理者、児童指導員4名、理学療法士1名を配置している。	今後も継続して適切な支援を行う
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		お子様にとって最善の環境に配慮している。	今後も継続して適切な支援を行う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		お子様にとって最善の環境に配慮している。	今後も継続して適切な支援を行う
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		発達支援室の他、別室に個別対応可能なスペースを設けている。	今後も継続して適切な支援を行う
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		毎日のミーティングや定例会議（月2回）はPDCAサイクルを活用し、業務改善を図っている。	今後も継続して業務改善に努める
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		年に1回、保護者向け評価表について職員全員で周知・検討する機会を設けている。	今後も継続して業務改善に努める
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日のミーティングや定例会議（月2回）に加えて、管理者による定期面談及び、年2回の人事考課により、意見の言いやすい職場づくりに努めている。	今後も継続して業務改善に努める
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	現在第三者による外部評価は行っていない。	今後検討し、より良い支援体制に努める
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		階層別研修及び、年間研修計画に基づき毎月実施している（専門性向上、コンプライアンス、虐待防止、感染症対策、緊急時対応等）また、外部研修については社内に掲示し周知している。	今後も継続して職員のブラッシュアップに努める
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		提供する支援内容と相違のないよう、支援プログラムを作成・公表している。	今後も継続して適切な支援を行う
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		日々の支援や保護者様、相談支援専門員等からの情報によりニーズや課題を把握し、個別支援計画を作成している。	今後も継続して適切な支援を行う
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		個別支援計画作成において、職員全員で個別支援計画検討会議を実施している。	今後も継続して適切な支援を行う
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		個別支援計画作成後は職員全員に周知し、定例会議等で実施状況の確認を行っている。	今後も継続して適切な支援を行う
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		フォーマルアセスメントとインフォーマルアセスメントを組み合わせることで情報を集めながら、お子様の状態や特徴を把握し、一人ひとりにあった支援方法を見立てている。	今後も継続して適切な支援を行う

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		5領域に基づき支援内容を設定し、個別支援計画を作成している。家族支援、移行支援等については保護者様の意向やお子様の年齢などにあわせて設定している。	今後も継続して適切な支援を行う
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		プログラム担当職員が中心となり3か月ごとに立案、児童発達支援管理責任者とともに策定している。	今後も継続して適切な支援を行う
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		保護者面談やアンケートによりニーズや課題を把握し、固定化しないようプログラムを策定している。	今後も継続して適切な支援を行う
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		お子様の状況、保護者様のニーズにあわせて個別・集団活動を組み合わせ個別支援計画を作成し、支援を行っている。	今後も継続して適切な支援を行う
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎朝のミーティングで前日の振り返り及び、当日の支援内容(送迎・カリキュラム・配置等)を確認している。	今後も継続して適切な支援を行う
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		毎日支援終了後に振り返りを行っている。振り返りの内容は記録し、翌日のミーティングに活用するなど情報共有に漏れがないよう努めている。	今後も継続して適切な支援を行う
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		個別支援計画をもとに支援記録を記載し、支援の検証・改善を行っている。	今後も継続して適切な支援を行う
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		6か月ごとのモニタリングのタイミングで保護者面談を実施し、共通理解を持ち見直しを行っている。	今後も継続して適切な支援を行う
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		4つの基本活動を組み合わせ支援を行っている。特に「日常生活と自立支援のための活動」を重点的に行っている。	今後も継続して適切な支援を行う
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		お子様にあわせた伝え方(文字、図、絵など)で選択肢を提示することで、選択の幅が広がり、自分で考え、決定していけるよう支援を行っている。	今後も継続して適切な支援を行う	
関係機関や保護者との	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		主に児童発達支援管理責任者が参画している。	今後も継続して適切な支援を行う
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		特別支援学校の連絡会や相談支援事業所との連携を図っている。	今後も継続して適切な支援を行う
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5		HPでの確認及び、保護者様にお渡ししている利用申込書に記載をお願いしている。また、変更やトラブルが発生した場合には送迎責任者が速やかに対応している。	今後も継続して適切な支援を行う
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	保護者様からの聞き取り及び、相談支援事業所との情報共有を行っている。	今後も継続して適切な支援を行う
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		移行先の事業所や相談支援事業所より求められた場合には、保護者様の了承を得て情報提供を行っている。	今後も継続して適切な支援を行う
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	研修については社内に掲示し周知している。	今後積極的に研修等に参加していく

連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	3	2	公園や施設を利用する際には地域の子どもと交流できるよう心がけている。	今後外出イベントで児童館を利用し、地域の子どもとの交流の機会を設けていく
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	現在参加できていない。	今後協議会からの参加依頼(案内)があれば積極的に参加していく
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時や日々の連絡の中で随時情報共有を行い、共通理解を持つことができている。	今後も継続して適切な支援を行う
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	現在ペアレント・トレーニングは実施していないが、研修等の情報提供は適宜行っている。	保護者様のご要望に応じて今後検討していく
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		利用契約時に説明を行っている。	今後も継続して適切な支援を行う
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		6か月ごとのモニタリングのタイミングで保護者面談を実施し、保護者様の意向を踏まえて作成している。	今後も継続して適切な支援を行う
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、同意を得ている。	今後も継続して適切な支援を行う
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		定期面談等において相談援助を行っている。また解決策は一緒に考え、ご家庭と事業所で同一の関わりが出来るよう連携を図っている。	今後も継続して適切な支援を行う
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		5	現在保護者会等は実施していないが、事業所説明会やオープンスクールを開催している。	現在ごきょうだい向けのイベントの開催を検討している
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		法人内の苦情対応窓口、尼崎市及び兵庫県の相談窓口を利用契約時に周知している。苦情については改善に向けて迅速な対応に努めている。	今後も継続して適切な支援を行う
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		公式LINEで毎月発行の広報誌やイベント情報、災害発生時の対応等を配信している。また、HPにはブログ(毎日更新)や自己評価結果を掲載している。	今後も継続して適切な支援を行う
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		書類関係は鍵付き書庫で管理し、PC内のデータは社外への持ち出しを禁止している。また、社内のインフラ整備も行き、セキュリティ環境の整備に努めている。	今後も継続して適切な支援を行う
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		保護者様との情報伝達については、電話・メール、書面を用いる等、様々なケースに対応できるようにしている。	今後も継続して適切な支援を行う
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	プライバシー保護の観点からも地域に開かれた事業所運営は行えていない。	今後も継続して適切な支援を行う
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各種マニュアルは事業所内に設置しており、保護者様には利用契約時等に周知・説明している。また、年間研修計画に基づき訓練を実施している。	今後も継続して適切な支援を行う
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		業務継続計画(BCP)に基づき感染症・自然災害それぞれ年2回訓練を行っている。	今後も継続して適切な支援を行う
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		利用契約時に服薬状況やてんかん発作の有無等確認し、記録している。	今後も継続して適切な支援を行う

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		利用契約時に食物アレルギーの有無を書面で確認している。食事を提供する際には食材等保護者様と再確認を行っている。	今後も継続して適切な支援を行う
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画に基づき設備等の点検及び、研修・訓練を実施している。また、各種マニュアルについては年度末に見直しを行っている。	今後も継続して適切な支援を行う
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		避難訓練等を実施した際には、サービス提供記録で周知している。また、広報誌やブログでも定期的に周知を図っている。	今後も継続して適切な支援を行う
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットが発生した際には報告書を作成し、再発防止策を検討している。また、事例をもとに適宜マニュアルの改訂を行っている。	今後も継続して適切な支援を行う
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		社内研修については年2回及び、新入職員の入社のタイミングで実施している。また、外部研修については社内に掲示し、参加を促進している。	今後も継続して適切な支援を行う
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束は法人としていかなる場合も行わないとしているが、やむを得ず行う場合に備えて指針の整備、研修の実施等適正化に努めている。	今後も継続して適切な支援を行う